

バスが来ましたよ

たくさんのひとが、

心待ちにしていたえほん。

「だれかにおそわるのではなく、

だれかがはじめた、しんせつ。」

刊行前からメディアでの紹介多数

目が見えない難病を患ってしまった、山崎浩敬さん。彼は自身の体験を「あたたかな小さい手のリレー」と題して書き、懸賞作文「小さな助け合いの物語賞」に応募。そして「しんくみ大賞」を受賞。その心温まるエピソードは、テレビニュースをはじめ、各メディアにて何度も取り上げられ、多くの人の心を動かした。ついに今回、満を持して、「えほん」という形に！

由美村 嬉々 文
松本春野 絵

小さな小さなひとことと、
小さな小さな手。
でも、それは多くの人の心を
突き動かした。

6月下旬発売



※表紙や中身は制作段階のものです。

申込書	貴店名・貴店印	条件	アリス館	注文数
	ご担当:	新刊委託	バスが来ましたよ 由美村 嬉々 / 文 松本春野 / 絵 ●AB判 ●40ページ ●5歳から 予価 1,540円 (税込) ISBN978-4-7520-1013-5 C8793	冊

【受注センター】 FAX 048-990-8045

TEL 048-990-8044 〒343-0824 越谷市流通団地 2-1-2

「親切のバトン」は引き継がれて

あらすじ

進行性の目の難病から全盲になった男性・山崎浩敬さん。
地元小学生に助けられながら続けたバス通勤。
「バスが来ましたよ」その声はやがて、次々と受け継がれ…。
温かい小さな手の、そして小さな親切の物語。

このお話が紹介されたメディア

- 読売新聞オンライン記事 (2021.1.26)
- わかやま新報 (2021.1.27)
- 朝日新聞 天声人語 (2021.4.1)
- 日本テレビ「スッキリ」(2021.1.26)
- NHK「しあわせニュース」(2022.4.11)

山崎さんからメッセージ

温かい小さな手の小さな親切が、次々と受け継がれています。あれから15年以上、私も退職まであと一年と半年、失明をした時は絶望のどん底でしたが、温かい手の小さなリレーで、退職までなんとか頑張れそうです。
この子どもたちが私を通じて何かを知ってくれたかな、と毎日、通勤で温かい手と共に感じております。



絵

松本春野 (まつもと はるの)

画家、絵本作家。絵本に『おのライフ』、『おやこでもうー！金子みすゞ』シリーズ、『あかちゃんがんばった！』など。

文

由美村嬉々 (ゆみむらきき)

本名：木村美幸

(一社) チャイルド・ロアクリエイト代表理事。
作家、編集者、絵本コーディネーター。
著書に『これだけは読んでおきたい すてきな絵本100』など。